

ストリーマーをみる

旧暦八月十五日、

みなさんはきれいな

ストリーマー（お月様）を

ご覧になりましたか？

各部落では月を眺めながらの部落行事・村あしびや獅子舞が行われました。

桃原では獅子屋での御願後、部落内の各家庭に獅子があらわれ、厄除けの獅子舞が行われました。獅子が登場すると怖がる子どもや、一緒に踊るおばあちゃんの姿もあり、周りは終始にこやか。約



△次はどこの家まわろうかなー（桃原）



△今年も伝統の舞を終えて、パチリ。
（小橋川・写真提供：大城剛氏）

二時間にわたる全家庭の訪問で、獅子舞保存会のみなさんは、滝のように汗をかいてがんばっていました。お疲れさま。

小橋川では、月の登った八時半ごろ、小橋川の殿に獅子が舞躍りました。小橋川の獅子舞は二四〇〜二五〇年前にはじまったといひ伝えられています（『西原町史』民俗編九五五ページ）。そうするとお月様は二〇〇年以上、小橋川の獅子舞をながめているこ

とになります。お月様、今年の舞はいかがでしたか？

内間では、ノロ殿内で獅子を囲んでの月見が行われました。差し出されたお酒を前に、いつもは怖い獅子の顔も心なしか嬉しそう。

祭りと芸能の季節・夏の最後を締めくくる八月の一連の行事は、十五夜で幕を閉じますが、皆さんも美しいお月様に夏の終わりを感じたでしょうか？



△獅子を囲んでカンパイ。（内間）